

# 令和4年度 事業報告書

## I. 国際体験創造事業

---

次代を担う青少年や市民各層に対し、外国人との直接的な交流による異文化体験の機会を提供し、国際性豊かな人材を育成するとともに、本協会の他事業への参画も図ることで、松山の国際化に向けた人材の活用に努める。

### 1. 第38回 まつやま中学生海外派遣

派遣先の姉妹・友好都市、本市ともに新型コロナウイルス感染症流行が収まらず、本年度も派遣の実施はできなかった。代替として、オンラインでアメリカの同世代の人たちとの交流や、異文化体験の機会を提供するプログラムを実施した。(実施主体は、過去の中学生派遣でも交流の実績のあるカリフォルニア州立大学サンマルコス校附属語学学校)

#### (1) 「第2回未来にはばたけ！まつやま中学生オンライン留学！」の実施

- ①日 時：11/19 オリエンテーション（日本時間 8:00～9:15）  
12/3、12/4、12/10、12/11 の5日間（日本時間 各 8:00～10:45）
- ②内 容：・ウォームアップのための自己紹介  
・同世代アメリカ人生徒との交流会  
・朝食交流会、自宅紹介  
・日本人講師の体験談と質疑応答 など
- ③対 象：松山市内に住む中学校1～3年生
- ④参加者：14人

#### (2) 国際体験創造事業（海外派遣事業）検討委員会の設置と開催

1982年以來40年近くにわたり、「まつやま中学生海外派遣」を実施してきたが、時代にあったより効果的な事業実施を検討するため、検討委員会を設置し、下記の通り事業内容について検討した。

- ①委員数：6名
- ②開催日：9/21、10/21、11/15、12/16、1/13、2/17
- ③内 容：現在の事業の課題を洗い出し、今後の派遣事業の対象者、派遣先、実施の仕方等についての方向性を議論した。

#### (3) フライブルク市との交流推進のための現地調査

新型コロナウイルス感染症流行の影響が減少し、今後のフライブルク市との直接的な交流に向けた現地調査を行った。また、松山市 観光・国際交流課の職員と共に「プラザ・クリナリア（グルメ見本市）」に出展した。

- ①出張期間：11/10～11/15
- ②出張者：1名

## 2. 大学生海外派遣事業

友好交流都市・台北市の同世代との交流を通して、現地の現状を知り、国際性豊かな人材を育成することを目的に、松山市内の大学生を台北市へ派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。代替として台北市と松山市双方の大学生を対象にオンライン俳句教室を開催し、俳句を通じて交流を図った。

- ①日 時：1回目（台湾）12/7 16:30～18:00  
2回目（合同）12/14 16:30～18:30
- ②会 場：コムズ5階 会議室5及び台湾大学
- ③内 容：1回目 講師による俳句についてのレクチャーと作句  
2回目 双方の俳句鑑賞や互いの地域のお菓子クイズなどを通じた交流
- ④参加者：台湾側 台湾大学日本語文学科の学生 21名  
松山側 松山市内の大学生 19名

## 3. 姉妹友好都市からの青少年受入交流

### (1) 青少年受入交流

日本文化の体験や学校訪問、ホームステイなど松山の青少年との交流を通して相互理解と友好親善を図る目的で、姉妹・友好都市からの青少年訪問団を受け入れる予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった。

### (2) 平澤市国際児童美術交流展への参加

平澤市国際交流財団が主催し、平澤市及び平澤市の姉妹・友好都市の小学生の美術作品を展示する「2023 国際児童美術交流展」へ展示する絵画を松山市と協力して募集、出品した。

- ①募集期間：2/26～3/17
- ②テ ー マ：「私の友だち(My Friends)」
- ③展示場所：韓国・平澤市 松炭国際交流センター 多目的棟
- ④出 点 数：4点

## 4. 海外からの親善訪問団等受入交流

市民との交流機会を創出し、国際理解の促進に努めることを目的に、姉妹・友好都市からの訪問団を受け入れ親睦を深めた。

### (1) フライブルク市副市長一行受入

- ①受入期間：11/24～11/26
- ②来 訪 者：2名
- ③内 容：愛媛FCトレーニング施設・環境啓発拠点りっくる視察及び「地球温暖化対策フォーラム」特別講演の実施など

### (2) 平澤市訪問団受入

- ①受入期間：2/10～2/13
- ②来 訪 者：平澤市市長、マラソン選手3名外計10名
- ③内 容：松山市花園通りなど都市開発区域の視察及び第60回愛媛マラソンへの参加

なお、アメリカ・サクラメント市から代表団を受け入れ、延期となっていた姉妹都市提携40周年記念事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

## 5. 地球人まつり

通算26回目となる地球人まつりを、愛媛県国際交流協会（EPIC）との共催により開催した。今年度は、少しでも地域で暮らす外国人住民との直接的な交流ができるよう、まつやま花園日曜市に出展した。

①日時：11/27 10:00～15:00

②内容：・ワールドバザール（世界の料理や雑貨の販売）

7か国（韓国、インドネシア、アルゼンチン、ジンバブエ、エチオピア、フィリピン、アメリカ合衆国）

・異国文化体験（ワークショップや世界の遊び体験）

3か国（コンゴ、ナイジェリア、アルゼンチン）

・ピースボードの作成

来場者に平和へのメッセージを付箋に書いてもらい、世界地図を形作るようボードに貼り付けた。

・国際交流ワークショップ（EPIC 担当）

県内の国際交流団体4団体（EPIC 含む）が、気軽に楽しめるワークショップを開催した。

## 6. フライブルク市寄贈ぶどう活用

フライブルク市から寄贈され、松山市野外活動センター内の「フライブルク友好ぶどう園」において、市が栽培しているぶどう（品種名：ソラリス）を収穫し、活用したほか、ソラリスと姉妹都市フライブルクについて理解を深めてもらう機会を提供した。

①製造品 ぶどう飴 1,200袋（10個入り）

②寄贈先 福祉事業所、子ども食堂

③ソラリスの広報を兼ねた国際理解教室の実施

ソラリスについての紙芝居や、ドイツ・フライブルクに関するクイズなどを行い、ソラリスや姉妹都市について学ぶ機会を提供した。

	実施日	施設名	人数（人）
1	7/22	東雲児童クラブ	40
2	7/27	三津浜児童クラブ	28
3	8/4	味生児童第一クラブ	31
4	〃	味生児童第二クラブ	29

5	8/19	余戸児童第二クラブ	50
6	12/11	マルクスコラ 山越教室	18
7	12/27	姫山児童クラブ	30
8	1/5	遊友学舎（桑原小校区）	29
9	1/6	雄郡児童第二クラブ	31
10	3/24	湯山児童第一クラブ	25
11	3/24	湯山児童第二クラブ	32
12	3/24	湯山児童第三クラブ	26
合 計			369

## II. 共生支援事業

外国人も「同じ地域で生活する住民である」ということを認識し、住民生活に必要な支援を行った。また、外国人の地域行事への参加を促し、地域への溶け込みを図るとともに、市民や地域の国際理解を深め、多文化共生の推進に努める。

### 1. 外国語としての日本語教室

外国人市民が日常の生活に必要なコミュニケーションを日本語で行えるよう、レベル別に分けて基礎講座を開催した。また、来日間もない外国人住民を対象とした「今すぐ日本語～くらしの情報広場～」も開催。授業を通じて、松山の生活に必要な情報も提供した。

講座名	曜日	時間	年間回数 (回)	登録者数(人)		
				前期	後期	
平日	初級Ⅰ	火曜	13:00～14:30	30	7	10
	初級Ⅱ	木曜	13:00～14:30	30	3	7
	初級Ⅲ	木曜	14:45～16:15	30	5	3
夕方	初級Ⅰ	火曜	18:30～20:00	30	7	8
	初級Ⅱ	火曜	18:30～20:00	30	5	7
週末	今すぐ 日本語	土曜	13:30～15:30	19	14	8
合 計				169	41	43

○子どもを持つ外国人市民も受講できるよう託児サポートを準備していたが、今年度の利用はなかった。

○「今すぐ日本語」では、生活情報提供等を行ったほか、フィールドワークも実施した。

## 2. 留学生支援団体助成

外国人留学生を中心とした外国人市民の生活をサポートするため、生活必需品の提供活動を行う民間団体に対して助成を行った。

団 体 名	事 業 内 容	助成金額 (総事業費)
シリキリヤ サポート クラブ	市民に呼び掛け、まだ使える生活必需品や余剰品を集め、留学生に提供する活動を実施。年間で 336 回を超える収集や提供を行った。主な提供品は、冷蔵庫、洗濯機などの家電用品と家具類。 主な経費：倉庫使用料、車借上げ料、ガソリン代等	300,000 円 (444,761 円)

## 3. 外国人のための無料行政書士相談

愛媛県行政書士会・松山支部との連携により、まつやま国際交流センター会議室を会場に毎月一回無料の行政書士相談を実施し、外国人市民の行政手続きや契約等に関する相談に応えた。

- ①開 催 日：毎月 1 回（原則第 2 水曜日）
- ②時 間：13:30～15:30 一人 30 分程度
- ③場 所：コムズ 4 階 国際交流会議室
- ④相 談 件 数：7 件
- ⑤主な相談内容：在留資格・ビジネスに関することなど

## 4. 国際交流サロン

外国人市民との交流の中で、市民が世界の様々な文化・生活習慣・価値観等を学び、国際交流へ参加するきっかけとして「国際交流サロン」を開催した。

	実施日	内 容	参加者数 (人)
1	6/12	<b>【Discover ETHIOPIA &amp; Life in ZAMBIA】</b> エチオピア出身とザンビア出身の二人がそれぞれの国を英語で紹介、ゲームやダンスを通じて交流をした。	23
2	12/4	<b>【つくりながら体験、「中国と韓国の新年迎え」】</b> 愛媛大学からのインターン 2 名がそれぞれの国の新年の迎え方を紹介し、新年の飾りや折り紙を楽しんだ。	39
3	2/4	<b>【“買い物ゲーム”でわかる世界の栄養問題】</b> JICA 愛媛デスクの大石さんを講師に、カードゲームを通じて世界や日本国内で起きている栄養の偏りについて考えた。 ＜コムズフェスティバル参加事業＞	21

4	3/11	<b>【今日お茶しない？】</b> 香港出身のアルフレッド・チャンさんをゲストに迎え、香港の紹介とおしゃべりを楽しんだ。	10
合 計			93

## 5. ジュニア国際交流「コスモリアン入門教室」

小・中学生を対象に、多文化共生意識の醸成や異文化理解を目的とした講座を開催するなど、心に国境をもたない“コスモリアン”の育成を図った。

### (1) 国際理解教育の支援

学校からの依頼を受け、授業へ留学生らを紹介し、交流と相互理解の促進を図った。

内 容	小 学 校	中 学 校
① 職場体験／出前講座	1回 (137人)	1回 (3人)
② 学校等への外国人紹介	2回 (12人)	2回 (9人)

※②カッコ内は紹介した外国人の数

### (2) コスモリアン教室

地域で暮らす外国人の協力を得て、青少年の異文化体験や国際理解に努めた。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	12/11	日ごろ国際交流の機会が少ない、障がいを持つ児童・生徒に対し、スリランカ出身のゲストを招き、スリランカについてのお話を聞いたほか、クイズを通してスリランカについての見識を深めた。	18
合 計			18

### (3) ESDコーディネーター派遣

ESD（持続可能な開発のための教育）の専門家であるNPOを学校へ派遣し、頭で理解するだけでなく実際に行動へ移す国際理解教育を支援した。

今年度は全て対面で行い、工夫を凝らして実施したほか、松山市内で国際協力を実施している団体とも連携し、学習や活動をより身近なものとして感じることができるよう努めた。

	学 校	内 容	
1	新玉小学校 1～6年生 542人 (計8回)	1年生	モザンビークの伝統的な「カプラナ布」を紹介し、試着体験を通じてモザンビークの「衣」について学習した。
		2年生	モザンビークの主食である「シマ（トウモロコシの粉）」の調理方法やモザンビークの学校給食を紹介し、モザンビークの「食」について学習した。

		3年生	モザンビークの都市部と地方の建物の違いや、自然史博物館の展示物や世界遺産を紹介し、モザンビークの「住」について学習した。
		4年生	パラリンピックについて学び、新玉小学校と交流実績があり、東京パラリンピックに出場した陸上選手イラーリオさんについての話など、モザンビークの「スポーツ」について学習した。
		5年生	モザンビークの「今」がどのような状況か、都市部と地方の開発の違いと格差について紹介した。平和構築支援から学校・クリニックの修繕、栄養価の高いモリンガの育苗と植林、フェアトレードの取り組みなどを紹介した。
		6年生	元在モザンビーク日本大使館特命全権大使の木村氏を招いてのキャリア教育を実施した。意見交換・質疑応答で外交官・国際協力に関わる仕事への関心を深めた。
2	垣生小学校 6年生、138人 (計3回)		フェアトレード商品開発で取り組んできたSDGs 刺繍やモザンビークの伝統布であるカラフルな「カプラナ布」を用いて、「貿易ゲーム」のワークショップを実施した。
3	清水小学校 6年生77人 (計2回)		これまでの清水小学校とモザンビークとの交流などについて紹介した。また、勝山中学2年生から、新玉小学校卒業生が結成したBof*の活動に参加するようになった経緯、活動内容を紹介してもらい、小学生や中学生が主体的に関われることを紹介し、意見交換した。 *「Bridge of friendship」ESDの学びを中学生になっても継続したいとの思いから立ち上げた自主グループ
4	松山北高校 1, 2年生 20人 2年生 240名 (計4回)	1, 2年生希望者 20人	「部屋の四隅」のワークショップを行った。えひめグローバルネットワークによるモザンビーク支援について紹介し、武器アートにも実際に触れる機会を設けた。
		2年生 240名	モザンビーク国内での都市部と地方の格差、支援地での活動を紹介した。またJICA事業で取り組んでいる「多文化共生型の減災社会づくり」で、四国の市町に在住する外国人とともに学び、ワークショップを開催している防災・減災プログラムを紹介した。
		海外研究部員 10人 教員 1人	元在モザンビーク日本大使館特命全権大使の木村氏の来松に際し、ユース交流会を開催し、木村氏と直接交流できる機会を設けた。松山北高校、Bofの取り組みのそれぞれについて発表し意見交換した。
5	味生第二小学校 5年生 90人 (計3回)		フィリピンで支援活動を行う松山市内のNPOより、フィリピンの概要や支援について学習した。 2回目は、名古屋市のNGOが運営するマニラの孤児院とオンラインでつなぎ、交流した。 3回目は、送った贈り物が届いている様子を、現地日本人スタッフが撮影した動画で見て、支援の意義を確認した
合計	1,107人 (20回)		





に質問等のできる時間を設け、マッチングを図った。

## 2. 交流ボランティアのための語学講座

地域での交流やボランティア活動に市民の“外国語能力”を生かせるよう、語学やコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催した。また、受講後はボランティアガイドへの登録を推奨し、今後の活動に学習の内容を生かしてもらえるよう努めた。

### (1) ボランティア語学講座

観光・文化施設の案内など、外国語観光ガイドに必要な実践的な語学の習得を図った。

		1期		2期		3期		合計	
		回数	登録者	回数	登録者	回数	登録者	回数	登録者
ハングル	上級	6	8	6	9	6	10	18	27
中国語	上級	6	6	6	5	6	3	18	14
英語	平日	7	25	7	24	7	25	21	74
	週末	7	15	7	12	7	8	21	35
合計		26	54	26	50	26	46	78	150

各講座とも、観光施設等において実地研修を行うフィールドワークを実施。その際外国人市民をゲストに招き、実践的な活動を行った。

### (2) ボランティアガイド活動

登録者による観光ガイドや通訳等の支援を行った。

《ボランティアガイド登録：176人》

	実施日	内 容	種別	派遣人数 (人)
1	11/24	アメリカ人 松山城観光案内	ガイド	1
2	11/25	フライブルク市副市長ら 松山城観光案内	ガイド	1
3	2/21	中国人母親 子の診療等に関する病院内会議の通訳	通訳	1
4	3/30	ダイヤモンド・プリンセス号寄港に伴うおもてなし・案内	ガイド	11
合 計				14

## 3. ホームステイ・ホームビジット振興

日本の文化や家庭生活の体験を希望する外国人とホストファミリーをマッチングし、ホームステイ・ホームビジットを行うことにより、実際のふれあいを通して異文化交流、相互理解を図る。

(1) ホームステイ・ホームビジット

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施はなかった。

・登録家庭：204 世帯

(2) My Matsuyama Family

留学生に松山を“第二の故郷”として親しんでもらえるよう、松山での家族となってもらえる家庭と引き合わせ、4か月を目安としてホームステイに限らない自由な交流を行ってもらい「My Matsuyama Family」を実施した。入国制限が緩和され、新規留学生数が徐々に増加した。

- ①交流実績：春季（6月～9月）：5か国6人の留学生が6家庭と交流  
夏季（8月～11月）：1か国2人の留学生が2家庭と交流  
秋季（1月～3月）：10か国17人の留学生が15家庭と交流  
②登録家庭：244 家庭

4. 生活サポートボランティア派遣

外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じて登録制の生活サポートボランティア“オタスケマン”に同行してもらい、サポートを行った。

また、活動に役立てることを目的に、登録者によるミーティングを定期的で開催し、情報共有を図った。

《オタスケマン登録者数：医療 88 人・日常 156 人》

(1) 医療同行サポート

	月 日	内 容	協力者数 (人)
1	7/22	内科受診同行	1
2	3/1	〃	1
3	3/29	〃	1
合 計			3

(2) 日常生活サポート

	月 日	内 容	協力者数 (人)
1	5/10	運転免許の免許講習通訳	1
2	5/14～	「今すぐ日本語」サポート（前期・8回）	6
3	7/13	市役所での保育園入園に関する通訳	1
4	7/18	ハイキング、ジョギング等サークル活動の情報提供	0

5	9月～	東雲小学校日本語支援員募集	1
6	9月～	新玉小学校日本語支援員募集	1
7	9月～	湯築小学校日本語支援員募集	1
8	9/2	運転免許切り替え通訳	1
9	9/6	履歴書作成及び翻訳	1
10	9/7	運転免許切り替え通訳	1
11	9/12	運転免許切り替え通訳	1
12	9/24	履歴書修正及び翻訳	1
13	10/11	国民年金未払い請求トラブルで説明のため同行	1
14	10/15～	「今すぐ日本語」サポート（後期・8回）	10
15	10/28	運転免許切り替え通訳	1
16	11月～	久枝小学校日本語支援員募集	1
17	11/27	地球人まつり@まつやま花園日曜市 2022 ブースでの通訳	1
18	3/10	転出に伴う各種手続き通訳（市役所、銀行、電気、ガス等）	1
19	3/22	銀行・ケーブルテレビでの手続き同行	1
合 計			32

(3) オタスケマンミーティング

	実施日	ミーティング内容	参加者 (人)
1	4/13	愛大留学生オリエンテーションコース事前準備	9
2	4/23	「今すぐ日本語」参加の外国人サポート研修	9
3	6/15	医療オタスケマン他自治体の事例について	13
4	6/26	市役所での外国人登録の手続きについて	14
5	7/20	医療通訳シナリオ案の背景となった病院同行事例の紹介	8
6	9/2	医療通訳ボランティア ①問診票作成	7
7	9/11	医師から見たオタスケマンへ望むもの	24
8	10/1	「今すぐ日本語」参加の外国人サポート研修	6

9	10/13	医療通訳ボランティア ②診察時の通訳その1	5
10	10/28	勝岡免許センターでの免許の切り替え等手続きについて	13
11	12/9	医療通訳ボランティア ③診察時の通訳その2	5
12	12/17	オタスケマンと外国人交流会	21
13	1/22	税金の基礎知識 (EPIC 主催)	4
14	2/17	医療通訳ボランティア ④問診票作成等	9
15	2/26	年金の基礎知識 (EPIC 主催)	4
16	3/16	「やさしい日本語」について	9
合 計			160

## 5. 民間国際交流団体等助成・支援

### (1) 姉妹・友好都市との交流助成

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により申請はなかった。

### (2) 後援

	月 日	事 業 名	団 体 名
1	8/31	多文化共生社会を目指して	(特非) Community Life
2	10/5	多文化 Cooking①	(特非) Community Life
3	10/8	第 39 回マドンナ・レシテーション・コンテスト～中学生英語暗誦大会	松山東雲中学・高等学校
4	11/26	グローバル井戸端会議－災害から学ぶ防災－	松山ユネスコ協会
5	1/29	多文化 Cooking②	(特非) Community Life

## 6. 情報発信事業

### (1) ホームページ・メールニュース・フェイスブック・冊子等による情報提供

生活に必要な情報を外国人市民へ提供するとともに、市民にもホームページ・メール・SNS等での情報発信を行った。新型コロナウイルス感染症関連の情報については、関係機関とも連携し、最新情報の提供に努めた。

また、ボランティアグループが編集を行っている英文情報誌「What's Going On?」（月1回発行）については、紙媒体での発行は取りやめた。従前から並行し

て運営しているウェブ版を整備拡充した。

①メールニュース

○OMICメールニュース 登録者数：1,935件

当協会が行う事業や、松山市及び近郊の国際交流に関する情報を週1回日本語で配信。

○コスモリアンメール 登録者数：935件

外国人市民に有用な情報を、やさしい日本語及び英語で併記して随時配信。

市民・外国人市民 935件

②Welcome Sheet

外国人と日本人市民によるグループ「ゆい・結・Yui」と連携し、来松間もない外国人市民に役立つ情報をまとめたシートを作成した。

(2) まつやま国際交流センター 情報コーナーの整備充実

国内外の定期刊行物や諸外国に関する図書等を収集し市民の諸外国の情勢や生活文化への理解と、外国人市民の日本社会や文化等に対する理解促進を図った。

○図書貸出：25冊

(3) ラジオによる広報

松山市のラジオ広報番組を通して、協会の事業の広報を行い、市民への周知を図った。

	月日	告知内容	番組名
1	7/9	外国語観光ガイド講座の案内	ラジオ広報番組「みんなの松山」
2	10/1	国際交流市民ボランティア入門講座の案内	ラジオ広報番組「みんなの松山」
3	1/7	コムズフェスティバル内で行う国際交流サロン「買い物ゲーム」の案内	ラジオ広報番組「みんなの松山」
4	3/4	国際交流サロン「今日お茶しない？」の案内	ラジオ広報番組「みんなの松山」

## IV. もてなしの風土醸成事業

外国人観光客誘致による交流人口の拡大を支援し、外国人が訪れやすい“やさしい風土づくり”の促進に努める。

### 1. レンタサイクル

海外からの誘客に向けた受入環境の整備の一助として、短期滞在外国人向けのレンタサイクルを設置し、無償で貸し出した。

①設置台数 6台

②料金 無料

③貸出件数 28件

## **V. 評議員会・理事会の実績等**

令和4年度における評議員会・理事会の開催状況等

### 1. 評議員会の開催状況

#### ○第1回評議員会

開催日：令和4年6月14日（火）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）5階 会議室5

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会理事の選任

令和3年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

出席者：評議員4人、理事2人、監事2人

#### ○第2回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会評議員の選任

出席等：決議事項について、評議員4人全員の書面による同意の意思表示を得た11月22日をもって、評議員会の決議があったものとみなした。

### 2. 理事会の開催状況

#### ○第1回理事会

開催日：令和4年5月18日（水）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）4階視聴覚室

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会就業規則改正の承認

公益財団法人松山国際交流協会理事の選任

令和3年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

令和4年度公益財団法人松山国際交流協会定時評議員会の招集

報告事項：事業の執行状況について

出席者：理事7人（欠席1人）、監事2人

#### ○第2回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：理事との取引の承認

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示、及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和4年9月7日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

#### ○第3回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会評議員の選任

出席等：決議事項について、理事9人全員の書面による同意の意思表示、及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和4年11月2日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

#### ○第4回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会給与規程の改正

出席等：決議事項について、理事9人全員の書面による同意の意思表示、及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和4年12月23日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第5回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会就業規則の一部改正

公益財団法人松山国際交流協会給与規程の一部改正

公益財団法人松山国際交流協会退職手当支給規程の一部改正

出席等：決議事項について、理事9人全員の書面による同意の意思表示、及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和5年2月28日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第6回理事会

開催日：令和5年3月22日（水）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）4階 視聴覚室

決議事項：令和5年度公益財団法人松山国際交流協会事業計画及び収支予算の承認

報告事項：事業の執行状況について

出席者：理事9人、監事2人